

# 道新電子版! いつでも朝刊読めます!



スマホで!タブレットで!  
パソコンで!紙面を丸ごと読むことができるサービス、「どうしん電子版」!

「どうしん電子版」は、道新を月決め料金で定期購読している方なら、無料で登録できる電子版会員限定のサービスです。



お問い合わせは

## 0120-889-104

台風被害を受けた多くの皆様に、心からお見舞いとお悔やみを申し上げます。何かしたいという気持ちはあれど、多発する災害に「思いやり」の気持ちで置いてあげてほしいです。子ども達に「思いやり」の指導をしようと、二つの言葉が必要になります。例えば、ある子が友達にひどいことをしたとき「同じことをされたらあなたもいやでしょ?友達も同じだよ」と言います。また、ある子がけんかをした時「人はそれぞれ違うから、自分の気持ちをきちんと伝えるんだよ」と言います。つまり、相手も「同じ」、相手は「違う」という二つの言葉です。一見、相反する言葉に感じますが、「思いやり」を考えると、私はこの「同じ」や「違う」に気付くことが第一歩だと思います。相手が同じ思いなのか違う思いなのかを察し、お互い同じ人間として尊重し、違いを理解し、どう解決するかを考えていくことが「思いやり」だと思っております。



「思いやり」な人間

新得町立屈足南小学校長 高 充慶



ところが、このところ「違う」ということを受け入れられない風潮が強くなってきているように思います。一才に満たない子であっても親とは違う人間です。夫婦も隣人も他国の方々も、相違があつて当然です。しかし、違いを認めず、思い通りにならないことへの苛立ちが目立ちます。ヘイトスピーチ、虐待、あおり運転、教師いじめ…。同じ人間としての尊厳すら認めないような行為もあり、「思いやり」どころの話ではないのかもしれない。即位礼正殿の儀において、「国民の幸せと世界の平和を常に願い、国民に寄り添いながら、国民の叡智とたゆみない努力によって、我が国が一層の発展を遂げ、国際社会の友好と平和、人類の福祉と繁栄に寄与することを切に希望する」と天皇陛下が述べられたように、人は「同じで違う」ものだということをたゆみない努力によって理解し、一教育者として思いやりのある平和な社会を守り続けたいと思います。

# 本

# 無送料

当販売所では様々なジャンルの書籍、雑誌、文庫、新書、週刊誌の定期購読など、ほとんど全ての出版物を確実にお取り寄せします。今読みたい話題作! 欲しい本をお取り寄せ!

せ! 気軽にお問い合わせください。通販は送料がかかりますが当販売所は無料です。\*当店取り置きとなります。宅配サービスは致しません。

## 「ねっとわーく屈足」



佐藤和典 巡査部長

「指名手配被疑者検挙に御協力下さい」

警察は、指名手配被疑者を検挙するべく全力で捜査を行っていますが、検挙するためには、皆様の御理解と御協力が必要不可欠です。皆様から寄せられた不審者、不審車両などの情報により、氏名手配被疑者の検挙・事件の解決に結びついた例は少なくありません。指名手配被疑者は、名を変え、姿を変え、皆様の身近に潜んでいることも予想されます。指名手配被疑者に関する情報は、110番通報又は、最寄りの警察署、交番等に御連絡下さい。皆様からの情報提供をお待ちしております。



道新十月号  
ポケットブック  
の御案内です。



▼ポケットブック10月号  
お酢の料理

疲労回復や食欲増進をはじめ、高血圧や食後の血糖値上昇を抑える働きにも注目されている「酢」。減塩にもつながる、うれしい調味料です。酢は肉料理や魚料理、スープに入れると、いつもと違う味を演出でき、重宝します。本誌ではこうしたレシピも含め、酢を使った多彩な料理を紹介いたします。配布済み

次号予告  
「気になる不調、もしかして? 鼻と喉の健康」 お楽しみに。

連続小説

# 完 走

赤池武臣

この水門には魚が豊富にいる。良太は学校が退けると夏場は欠かさずこの水門に来、石畳で鰻や鰻を捕え、母の食事を手助けた。水門を過ぎ、焼酎工場の横を通り抜け、坂の登り口につく。ここで良太はもう一度うしろを振り返った。後続との差は依然として変化はなかった。

この日のため、良太は毎日夜のトレーニングを欠かしたことはなかった。夕方、牛馬の世話が終り、オヤツ代りの芋を二つ三つ懐にねじこむと校庭まで走った。夜の校庭には顔こそ定かではなかったが必ず何人かの人影がひっそりと思いいいに練習をしていた。そんな中、短距離が得意だという一つ年下の富士子も時折練習に来ていた。彼女に会えることは良太のひそかな楽しみでもあった。

会えばどちらからもなく寄り添い夜の闇に紛れて帰った。二人ともほとんど口をきくことはなかった。が、良太は肩が触れ合う距離を保ちながら一緒に歩くだけで心の芯に小刻みに震える温もりを感じた。良太は校庭につくと月明りの中で拳ほどの石を押し両腕に握りしめた。こうして走ること、疲れてくると下がり気味になる両腕の筋肉を鍛えることができるこれは良太独特のトレーニング法でもあった。その成果が今日の独走につながっているのだと良太は思った。

ゴールまであと五キロ余り。良太は下腹部に力をこめると、体を前に倒し、両腕をうしろに強く振った。両太腿に、ググッと力が掛かる。この坂を凌げば、あとは平坦な道がしばらく続く、最初のポイントの坂だった。二つ吸って一つ吐く、良太は大きく口をあけ、最大限の酸素を肺に送りこんだ。

順調だ。良太は五十メートル間隔に立っている電柱の間をきつちり五十歩で刻んだ。

ねっとわーく屈足 検索

ねっとわーく屈足電子版  
ミニコミ紙「ねっとわーく屈足」が、パソコンやスマートフォンで動画も閲覧できます。  
ツイッターも屈足の話一杯毎日更新!

じじ-akira1942 検索